

## 俳句ポスト 夏の部 特選句

森悦子 選(白山市俳句協会)

更衣形見のものに手を通す	福井県	大崎 昌子
汗の子を抱きしめてゐる汗の母	福井県	木津 和典
蒲公英の絮飛ばす息退院す	金沢市	斉川 正明
「海程」も「狩」も終刊夏至に入る	徳丸町	谷口 外喜恵
ポップスの弾ける広場ところてん	兵庫県	ぐずみ
十和田湖の新緑まとふ乙女像	東京都	高嶋 旅人
麦秋を突き抜けて行く一両車	福井県	木幡 嘉子
万緑の山影幾重手取ダム	金沢市	羽柴 瑞枝
黙認に柚子坊肥りきつてをり	兵庫県	保理江 順子
一舟もなき紺碧の卯月浪	富山県	山下 しのぶ
ソーダ水ふと恋心よみがへる	愛知県	与玖 法破来
水匂ふやはらかき闇螢の火	能美市	森田 香津美
桑の実や少年の日の軽い咎	東京都	右田 俊郎
棟上の槌音乗り来あいの風	八ツ矢町	門田 いく江
白靴や肝心な時いない人	福井県	桑島 真喜栄
柚子の花母の笑顔を置きてくる	東京都	善田 良子
大甕の睡蓮の花風誘ふ	新成 2丁目	石尾 サチコ
竹林や見習い車夫の日焼顔	中町	佃 久美子
草を落ち水の螢となりにけり	金沢市	今村 征一
一点の影の動かぬ夏の昼	東京都	新川 進司

## 選者吟

村ひとつ唐黍畑に隠れけり

悦子

〈平成30年5月～7月 投句数1261句, 投句者数 304人〉